

平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和元年 7 月）会議録概要

日 時：平成 31 年 7 月 18 日（木）午後 6 時～8 時 45 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 長谷川 小笠原 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

1. 開会のあいさつ

大橋：梅雨明けが待ち遠しい毎日。待望のサマーイベントが 7 月 30 日から始まる。詳細は後ほど確認する。前回地域学校コーディネーターと顔合わせをし、有意義な時間を過ごせた。具体的な活動の内容はないが、顔合わせができたことが大きな収穫。学校支援の連携が密になれば良い。

2. 平成 31 年度地域活性化講座について

① 「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

石川：チラシ、申し込み状況参照。自治会用の回覧板には今年は 2 種類のチラシを回覧。

クッキングは今回も大人気。申込開始 1 時間でキャンセル待ち含めて定員に。正方形パズル、本のカバーでエコバッグ、浮沈子も人気。ボランティアの申込状況について。食事作りで中 1 生徒が 3 日間参加予定。学芸大の杉山さんは確認中。社会福祉協議会から高 2 生徒が 8 月 6 日のみ参加予定。昨年お手伝い頂いた細谷さんは 8 月 6 日以外来る。食材寄付は清水会系事務所から米と缶詰を頂いた。

広瀬：食材寄付の箇所に、野菜が入っていない。

石川：野菜は別口で依頼している。毎週月曜に届けてくれるとのこと。玉子も頂ける。

大橋：次回は食材として、全く知らない人でも分かるように記載するのが良い。

小林：大根、カブは葉つきで頂きたい。その葉が利用できる。頂いたものを上手に使う。品物がないのが一番厳しい。西砂は材料が集まってすごい、と言われたことがある。

大橋：何をどのくらいと、明確なほうが寄付しやすい。協力体制、ネットワークを広げることが大切。

岩元：半端ものでよければいくらかでも良いと言ってくれる方がいる。

広瀬：西武立川駅の掲示板に係長が目立つ用にチラシを貼ってくれた。

大橋：西武立川駅の掲示板は地域の情報が沢山貼られている。情報が目につく場所。

岩元：七中の校長先生がボランティアが集まったか気にかけてくれていた。

●お手伝い（午前）都合が悪い方 集合：9 時

7 月 30 日 小笠原 岩元 8 月 6 日 小笠原 岩元 森 増田

8 月 13 日 長谷川 森 増田 8 月 20 日 長谷川 小笠原 8 月 27 日 長谷川 小笠

原

大橋：午後の学習（午後1時～4時半）はボランティアがメイン。

広瀬：午後の学習ボランティアは何人必要か。食事はどうするか。

石川：引き継ぎによると3人となっていた。食事を済ませてから来る方もいる。4回目のパン作りには何人のお手伝いが必要か聞きご連絡する。

② 「西砂川での災害を考える<第4弾>被災時クッキング」について

石川：資料参照。副代表の荒井さんが講師。耐熱性ビニール袋を使い調理をする。食材費は1人500円。高齢者は災害時でも煮物が食べたいとのこと。誰でもできる簡単煮物を作る。他、麩のスイーツや、水で作るカップヌードルを予定。

大橋：災害時でも普段と変わらない味で災害を乗り越えていけたら。5、6種類を実際に作る。サバ缶を使ったカレーやオムレツ、煮物、おやつ等。

岩元：今までは土日にやっていたが、水曜開催にしたのはなぜか。

石川：打合せで決まった。保育付きにして若いお母さんの参加もターゲットにしてみた。

大橋：これが第4弾になる。実施後また災害講座をどうするか検討したい。

③ 「地元を学ぼう！ようこそ！西砂へ 西砂・砂川地区の歴史」について

石川：7月4日に岩元さんと笠井さん宅を訪問。

岩元：ご本人が専門的な話はできないと話していた。映像を1時間くらい活用して、片付けを含めて2時間位を検討。

石川：砂川地域の写真が手に入ればそこから話しを膨らませてやりたいとのこと。

岩元：いつ頃の開催を予定しているか。それに合わせて写真や映像の用意をする。

大橋：映像を入れ2時間のプログラムを組んで実施したい。内容について笠井さんと打合せをしたい。実施は3月7日（土）を目途に。

④ その他

石川：資料1、2参照。西砂学習館では12月14日クリスマスジャズコンサートを予定。

3. 報告及び連絡事項

① 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ連絡。

② 地運協と地域学校コーディネーターの顔合わせ、他館の状況（報告）

石川：他館の地運協では地域学校コーディネーターとの顔合わせは進んでいない。各地運協に地域学校コーディネーターと顔合わせをする旨伝えるようにとセンター長から話があった。地域学校コーディネーターの担当係長が不在だったが、新しい係長が

決まったので進むと思う。

③ 西砂学習館まつりについて（報告）

石川：学習館まつりの反省会を実施。事務局の準備不足で、再度9月4日に連絡会をすることになった。作品展と発表会を別の日に実施すると人が来なくなるのではとあまり変化を望まない雰囲気はあった。

広瀬：地運協の関わりはどうするか。

石川：他館では実行委員会形式、地運協主体と色々。各館の独自になっている。

④ 地域学習館運営協議会交流会について

【参加】大橋、加藤、広瀬、進藤、長谷川、小笠原、岩元

石川：資料参照。幸学習館が担当。

大橋：今回の研修内容は西砂の地運協としては興味がわからない。地域学校コーディネーターと学習館の関わりについての内容が良かった。

岩元：学生が学習館をどうとらえているかという点では新しい発見があるかなと思う。

大橋：この地域にも学生はいるが、ボランティアとしての参加は少ない。エリアの問題があると感じる。

広瀬：学芸大の学生は幸学習館、錦学習館、高松学習館で関わっている。

⑤ フリースペースについて（報告）

小林：元地運協委員でフリースペースを立ち上げた澤井さんが本を送ってくれ電話で話した。サマーイベントの話をしたらとても喜んでいて。7月6日オムライス、オニオンスープ。8月はサマーイベントがあるので実施しない。

大橋：先日のフリースペースで時間があつたので、小林さんに戦争のお話をしてもらった。

⑥ 各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：8月3日柴崎学習館で「ヒロシマ・ナガサキ上映会」。市民推進委員会で今年度の講座は50講座位。その中で、西砂学習館実施は2つ。「クラシック音楽入門講座」と「交流クッキング」。前回話したがパソコン講座を西砂学習館でやりたいと考えている。

広瀬：外国人に日本語を教えるTIFAという団体がある。ボランティアは50人位いて、外国人が沢山来ているが、未だに事務所が無い。多少市から補助はあるが、ボランティアで一生懸命な人達に対して行政の目がいていないなとつくづく感じた。7月13日から「クラシック音楽入門講座」がスタート。

進藤：WestWaveとこのエリアの地図を作っている。完成したらウォーキングを予定。7月23日「子ども地域懇談会」日本にルーツのない親御さんのお子さんのお話。

長谷川：6月市民科授業で小学6年生が麦刈をした。7月7日は無事に脱穀。8月17日は松

明祭でその粉を使いスイトンを作る。青少健では長期休み期間の最初にパトロールをしている。今年初めての試みで7月28日は松中小PTAと合同パトロールをする。色々な地域のお祭りがあるので手分けして様子を見に行く。7月20日は松中小で流しそうめんを行う。誰でも参加できる。

小笠原：年に1回モニタリングがある。自己評価と行政評価を擦り合わせて議会にだす。西砂児童館は地域に密着した事業を学習館と一緒にやっているとのことで高い評価を頂いた。同じ法人の中でも地域とこれだけ密にしているのはなかなかないと感じている。7月27日、28日は「児童館に泊まろう」。7月31日「西砂ホラーハウス」。8月2日「デイキャンプ」。羽衣地区の児童館と合同で子ども40名と行く。9月は地域交流会を予定。

岩元：文化会は8月25日地域のカラオケ大会。9月7日文化会研修会。講師は笠井さん。11月2日、3日文化祭。現在、地域の文化活動を文化会が網羅している状況ではない

ので、勿体ないと感じている。色々なジャンルの文化活動の方に文化会に入会して貰えないか話し合いをしている状況。

サークルの会場予約の担当になった。部屋がとれるかドキドキしている。

小林：頭の中はサマーイベントで一杯。寄付を頂いた食材で美味しい料理を作りたい。

森：パソコン倶楽部では講座が無い月はミニ講座をしている。今回はUSBメモリの使い方を学び好評だった。3月企画講座はWindows10を検討中。地域学校コーディネーターの鈴木さんとお会いした。この会議に校長先生や副校長先生を招待したほうが良いとおっしゃっていた。待っているとずっと待っているようになるとのこと。

増田：立川市は、毎年「やさしい財政白書」を発行してきている。今年度中に、多摩地域の団体と協働で作成した「財政読本」を使って立川市内の中学2年生を対象に授業を行うため、真如苑の「真乗プロジェクト」から助成金を頂き、現在実施準備中。

4. その他

※次回開催；次回は、9月19日（木）午後6時～ 西砂学習館